

第二次笛吹市総合計画実施計画の 見直しに係る市民アンケート調査結果

INDEX

調査概要	1
アンケート調査結果	2
F1 性別について (SA)	2
F2 年齢について (SA)	3
F3 おもな職業について (SA)	4
F4 居住地域について (SA)	5
F5 同居家族の人数について (SA)	6
F6 同居者の年代について (MA)	7
F7 笛吹市に住みはじめてからの居住年数について (SA)	8
F8 笛吹市に住むことにした理由について (SA)	9
問 1 笛吹市に関する情報の入手方法について (MA)	10
問 2 新型コロナウイルスによる不安・困りごとについて (MA)	111
問 3 愛着度について (SA)	122
問 4 今住んでいる地域に住み続けたいかについて (SA)	133
問 5 住み続けたい理由について (MA)	144
問 6 住み続けたくない理由について (MA)	166
問 7 地域の助け合いの充実について (SA)	18
問 8 整備充実が必要な公共施設について (MA)	19
問 9-1 施策の重要度について (SA)	21
問 9-2 施策の満足度について (SA)	24
問 9-3 施策の重要度・満足度について (SA)	27

調査概要

① 調査の目的

市政運営の指針となる第二次笛吹市総合計画で、市の将来像を「ハートフルタウン笛吹～優しさあふれるまち～」とし、その実現に向け、施策や事業を推進している。また、将来像の実現に向け、計画的で効果的な行政運営を実現するため、優先的、重点的に取り組む具体的な事業を明らかにした実施計画をとりまとめ、まちづくりを進めている。

本調査は、現行の実施計画の計画期間が令和 3 年度に終了することに伴い、新たな実施計画を策定するにあたり、これまでの市の取組などについて市民の皆様の御意見をお伺いし、これからのまちづくりに反映させていくことを目的として実施するものである。

② 調査内容

設問分野	設問数	調査内容
回答者の属性	8	性別、年齢、職業、居住地区、同居家族の人数、同居者の年代、笛吹市に住みはじめてからの居住年数、笛吹市に住むこととした理由

③ 調査方法

仕様項目	仕様
調査対象者	18 歳以上の市民 1,500 人（無作為）
調査方法	郵送
調査期間	令和 2 年 12 月 25 日から令和 3 年 1 月 18 日まで

④ 回答結果

回答数 計 788 件（有効回答数 計 788 件）

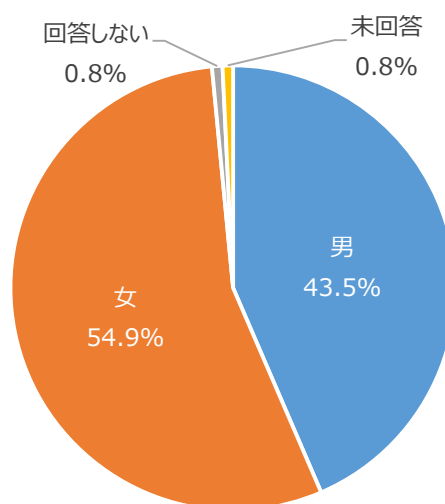
⑤ 本報告書中の記号、調査結果の数値及び分析について

- n 総回答者数（number）をあらわす。「n = 100」は、総回答者数が 100 人ということ。統計調査では n をサンプル（標本）のサイズと呼び、その標本の大きさを示す数値となる。
- 回答率 各回答項目の回答率は、総回答者数 n に対する比率を求めた。小数点第二位を四捨五入しているため、各回答率の合計が 100%にならない場合もある。
- (S A) 単一回答（Single Answer）の略。選択回答は 1 項目のみ。
- (M A) 複数回答（Multi Answer）の略。複数回答における回答率は 100%を超える場合があるが、これは総回答数でなく総回答者数 n に対する比率としているためである。
- 有意差 調査結果から得られたある 2 つの値の差が、確率的に偶然とは考えにくく、統計上、信頼でき意味があると考えられる差のこと。信頼でき意味があるものか、偶然生じたものであるのかを判定するためには有意差の検定を行う。有意差検定では、2 つの値の差が偶然生じる確率の基準（有意水準）を定め、判定の結果がその基準以下であった場合に、統計的に有意差が認められる（意味のある差）としている。一般的なアンケートでは有意水準 5%未満として扱うことが多いことから、本報告書でも、有意水準を 5%未満としている。
- 分析 有意差が認められた場合に分析し、有意差が認められないものについては原則分析していない。グラフや表で数値的に差があるように見えていても分析がない場合がある。それは有意差が認められないことを意味している。また、未回答については分析をしていない。

アンケート調査結果

F1 性別について (SA)

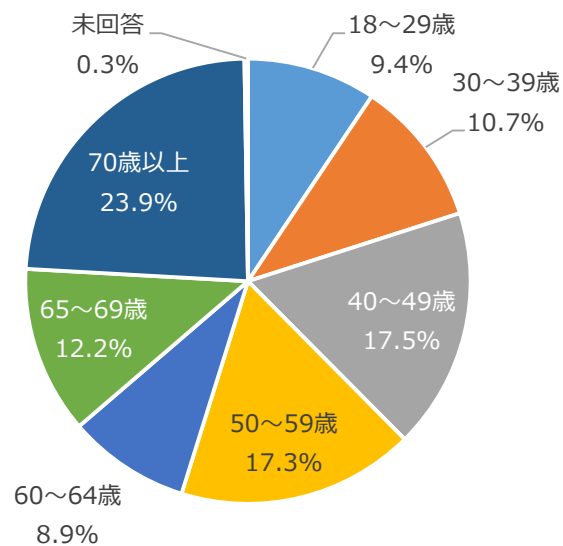
性別について伺ったところ、「男性」が 43.5%、「女性」が 54.9%と「女性」の回答率が高かった。



	N	%
男	343	43.5%
女	433	54.9%
回答しない	6	0.8%
未回答	6	0.8%
回答者数n	788	100.0%

F2 年齢について (SA)

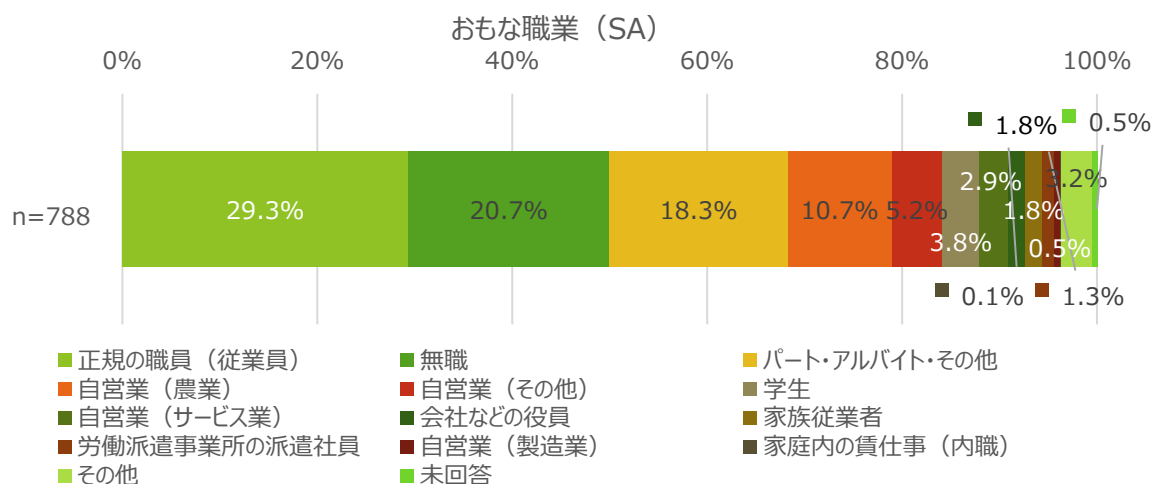
年齢について伺ったところ、「70歳以上」が23.9%、次いで「40-49歳」が17.5%、「50-59歳」が17.3%の順となった。



	N	%
18~29歳	74	9.4%
30~39歳	84	10.7%
40~49歳	138	17.5%
50~59歳	136	17.3%
60~64歳	70	8.9%
65~69歳	96	12.2%
70歳以上	188	23.9%
未回答	2	0.3%
回答者数n	788	100.0%

F3 おもな職業について (SA)

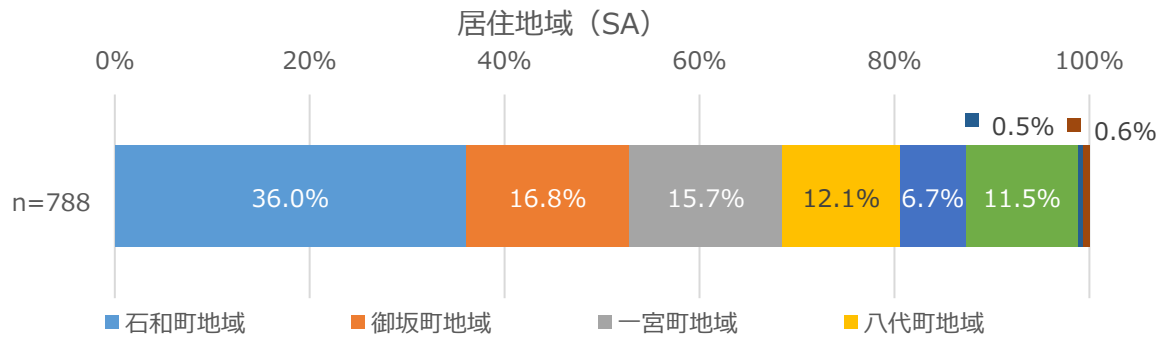
おもな職業について伺ったところ、「正規の職員（従業員）」が 29.3%、次いで「無職」が 20.7%、「パート・アルバイト・その他」が 18.3%の順となった。



	N	%
正規の職員（従業員）	231	29.3%
労働派遣事業所の派遣社員	10	1.3%
パート・アルバイト・その他	144	18.3%
会社などの役員	14	1.8%
自営業（農業）	84	10.7%
自営業（製造業）	4	0.5%
自営業（サービス業）	23	2.9%
自営業（その他）	41	5.2%
家族従業者	14	1.8%
家庭内の賃仕事（内職）	1	0.1%
学生	30	3.8%
無職	163	20.7%
その他	25	3.2%
未回答	4	0.5%
	788	100.0%

F4 居住地域について (SA)

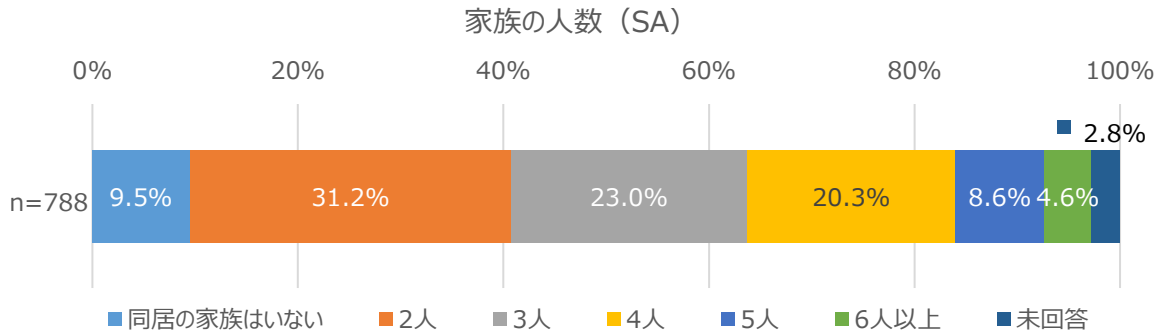
居住地域について伺ったところ、「石和町地域」が 36.0%、次いで「御坂町地域」が 16.8%、「一宮町地域」が 15.7%の順となった。一方、「芦川町地域」が 0.5%と低かった。



	N	%
石和町地域	284	36.0%
御坂町地域	132	16.8%
一宮町地域	124	15.7%
八代町地域	95	12.1%
境川町地域	53	6.7%
春日居町地域	91	11.5%
芦川町地域	4	0.5%
未回答	5	0.6%
回答者数n	788	100.0%

F5 同居家族の人数について (SA)

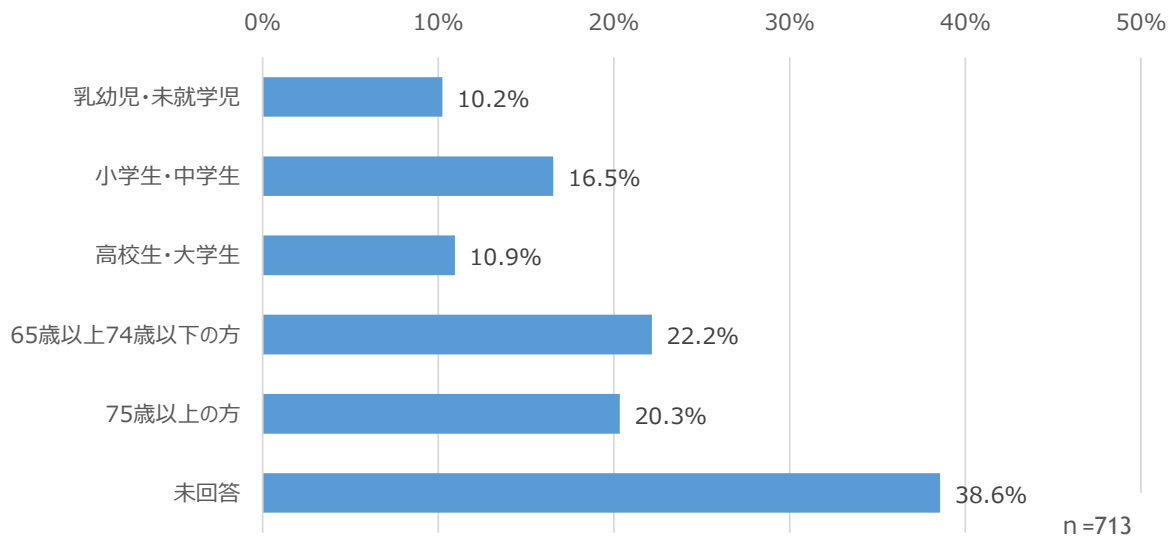
同居家族の人数について伺ったところ、「2人」が31.2%、次いで「3人」が23.0%、「4人」が20.3%の順となった。



	N	%
同居の家族はいない	75	9.5%
2人	246	31.2%
3人	181	23.0%
4人	160	20.3%
5人	68	8.6%
6人以上	36	4.6%
未回答	22	2.8%
回答者数n	788	100.0%

F6 同居者の年代について (MA)

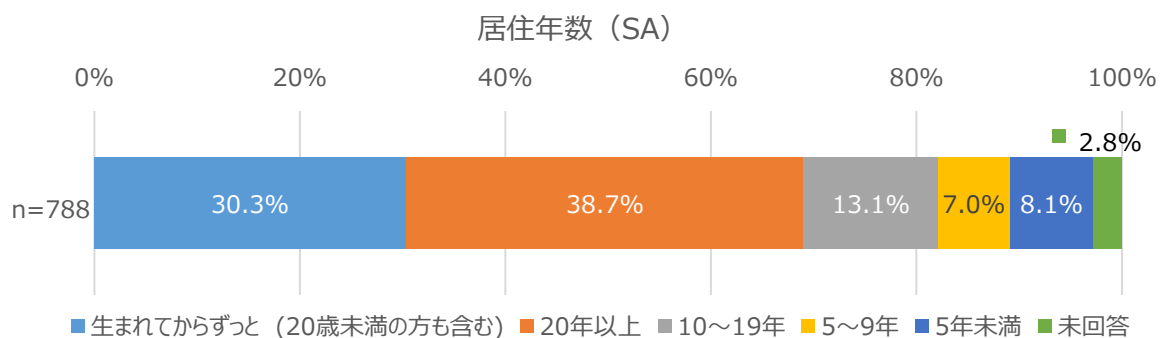
F5で、「同居の家族はいない」と答えた以外の方に、同居者の年代について伺ったところ、「65歳以上74歳以下の方」が22.2%、次いで「75歳以上」が20.3%、「小学生・中学生」が16.5%の順となった。



F5で1以外の回答	N	%
乳幼児・未就学児	73	10.2%
小学生・中学生	118	16.5%
高校生・大学生	78	10.9%
65歳以上74歳以下の方	158	22.2%
75歳以上の方	145	20.3%
未回答	275	38.6%
回答者数n	713	
回答数N	847	
N/n	1.19	

F7 笛吹市に住みはじめてからの居住年数について (SA)

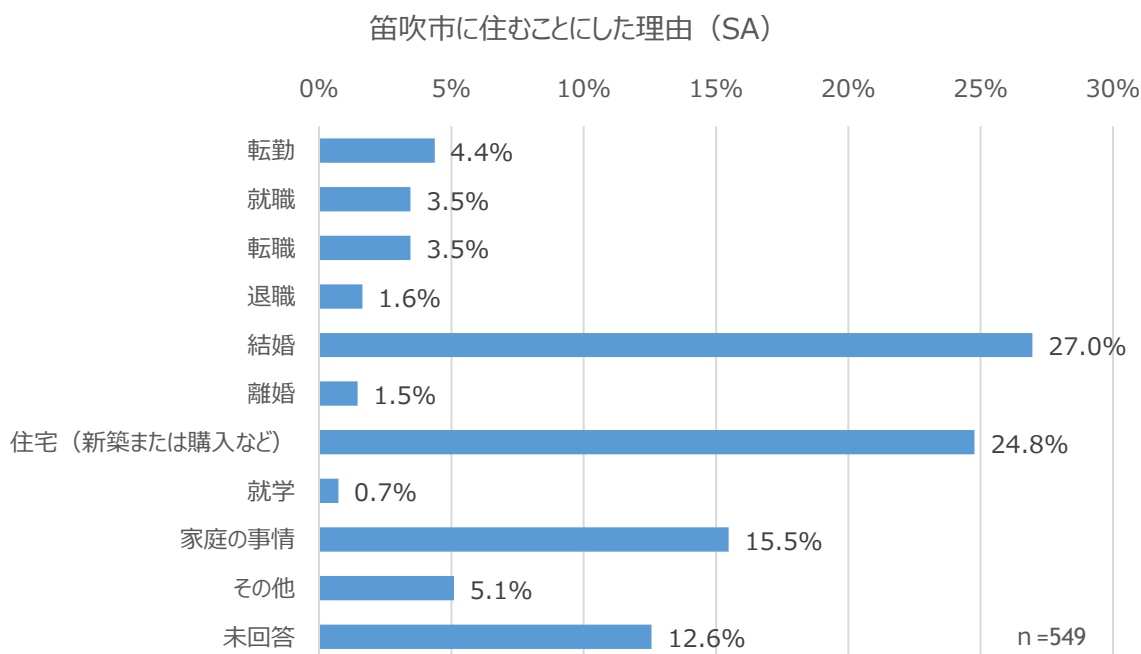
笛吹市に住みはじめてからの居住年数について伺ったところ、「20年以上」が38.7%、「生まれてからずっと（20歳未満の方も含む）」が30.3%と高く、「5～9年」が7.0%、「5年未満」が8.1%と低かった。



	N	%
生まれてからずっと (20歳未満の方も含む)	239	30.3%
20年以上	305	38.7%
10～19年	103	13.1%
5～9年	55	7.0%
5年未満	64	8.1%
未回答	22	2.8%
回答者数n	788	100.0%

F8 笛吹市に住むことにした理由について (SA)

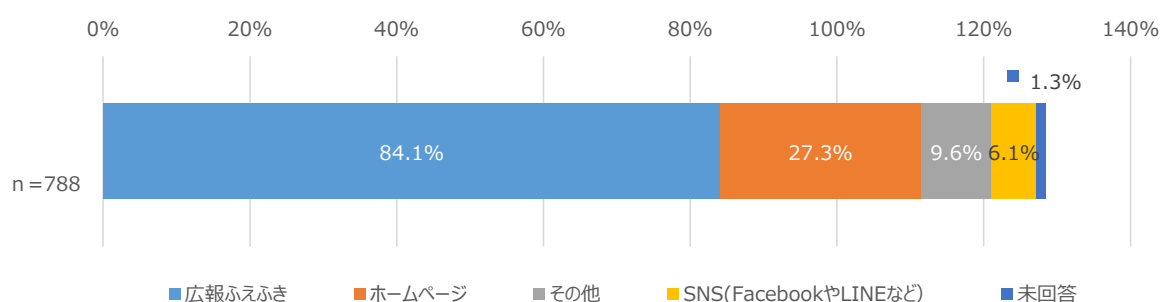
F7で、「生まれてからずっと(20歳未満の方も含む)」と答えた以外の方に、笛吹市に住むことにした理由について伺ったところ、「結婚」が27.0%、次いで「住宅(新築または購入など)」が24.8%と高く、「就学」が0.7%と低かった。このことから、結婚や住宅(新築または購入)などの新たな生活の場として笛吹市を選んでいる方が多いことが伺える。



F7で1以外の回答	N	%
転勤	24	4.4%
就職	19	3.5%
転職	19	3.5%
退職	9	1.6%
結婚	148	27.0%
離婚	8	1.5%
住宅 (新築または購入など)	136	24.8%
就学	4	0.7%
家庭の事情	85	15.5%
その他	28	5.1%
未回答	69	12.6%
回答者数n	549	100.0%

問 1 笛吹市に関する情報の入手方法について (MA)

笛吹市に関する情報をどのような方法で入手しているか伺ったところ、「広報ふえふき」が 84.1%、次いで「ホームページ」が 27.3%であった。8 割を超える市民が入手方法を「広報ふえふき」と回答している、一方で、「SNS」はあまり利用されていなかった。

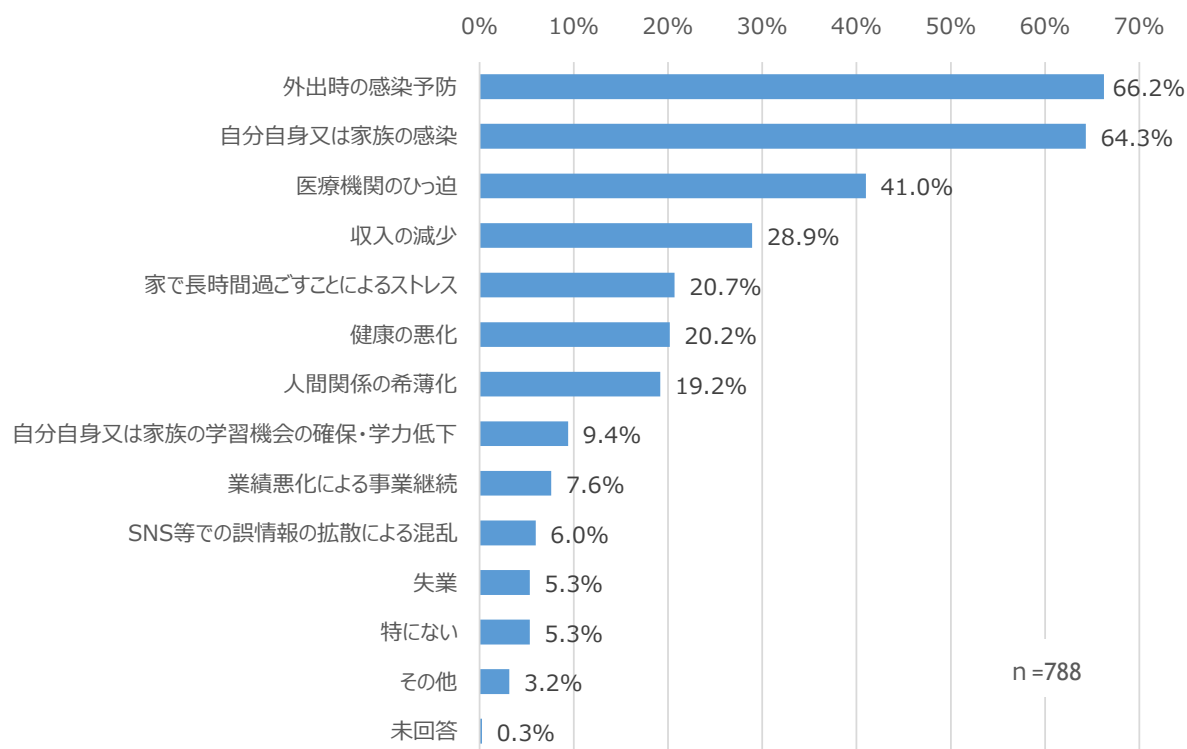


	N	%
広報ふえふき	663	84.1%
ホームページ	215	27.3%
SNS (FacebookやLINEなど)	48	6.1%
その他	76	9.6%
未回答	10	1.3%
回答者数n	788	
回答数N	1,012	
N/n	1.28	

問 2 新型コロナウイルスによる不安・困りごとについて (MA)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、現在、不安なことや困りごとを伺ったところ、「外出時の感染予防」が 66.2%、「自分自身又は家族の感染」が 64.3%と高く、「医療機関のひっ迫」が 41.0%と続いた。さらに、「収入の減少」が 28.9%、「家で長時間過ごすことによるストレス」が 20.7%、「健康の悪化」が 20.2%、「人間関係の希薄化」が 19.2%と続いた。

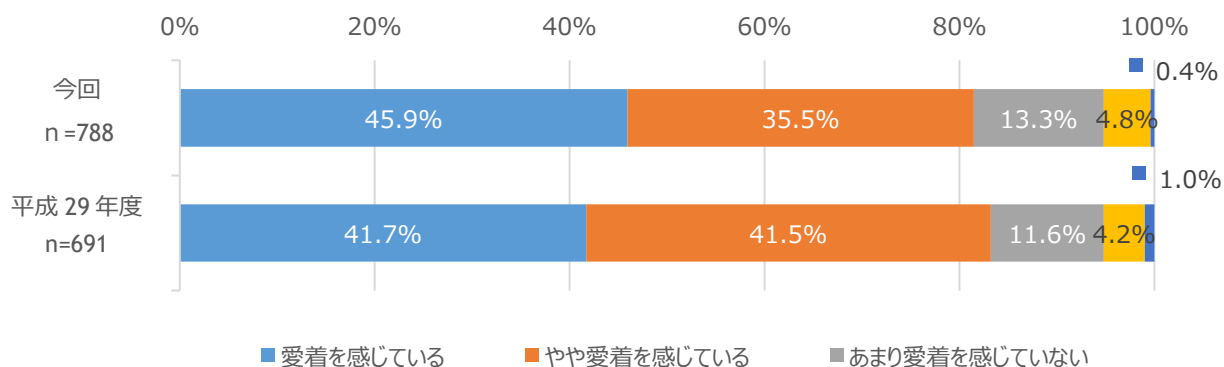
新型コロナウイルスへの感染や感染拡大に伴う医療機関のひっ迫に強い不安を感じており、次いで、収入減少、家で長時間過ごすことによるストレス、健康悪化及び人間関係の希薄化など生活面における不安が挙げられた。



	N	%
外出時の感染予防	522	66.2%
自分自身又は家族の感染	507	64.3%
医療機関のひっ迫	323	41.0%
収入の減少	228	28.9%
家で長時間過ごすことによるストレス	163	20.7%
健康の悪化	159	20.2%
人間関係の希薄化	151	19.2%
自分自身又は家族の学習機会の確保	74	9.4%
業績悪化による事業継続	60	7.6%
SNS等での誤情報の拡散による混乱	47	6.0%
失業	42	5.3%
特にない	42	5.3%
その他	25	3.2%
未回答	2	0.3%
回答者数n	788	
回答数N	2,345	
N/n	2.98	

問3 愛着度について (SA)

今住んでいる地域にどのくらい愛着を感じているかを伺ったところ、「愛着を感じている」が 45.9%、「やや愛着を感じている」が 35.5%と合わせて 81.4%が「愛着を感じている」と回答した。前回調査（平成 29 年度）と比較すると、「愛着を感じている」と「やや愛着を感じている」の合計は 1.8 ポイント減だが有意差があるとは言えなかった。「やや愛着を感じている」は前回調査より減少しており、6.0 ポイント減だった。

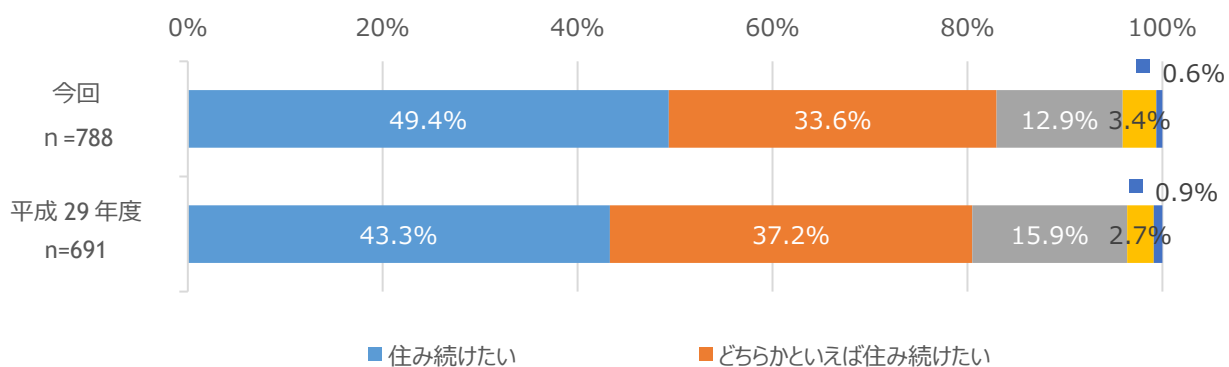


	N	今回	平成29年度
愛着を感じている	362	45.9%	41.7%
やや愛着を感じている	280	35.5%	41.5%
あまり愛着を感じていない	105	13.3%	11.6%
愛着を感じていない	38	4.8%	4.2%
未回答	3	0.4%	1.0%
回答者数n	788	100.0%	100.0%

*平成29年度の無回答は今回の未回答とした。

問 4 今住んでいる地域に住み続けたいかについて (SA)

これからも今住んでいる地域に住み続けたいかを伺ったところ、「住み続けたい」が 49.4%、「どちらかといえば住み続けたい」が 33.6%となり、合計で 83.0%が住み続けたいと回答した。前回調査（平成 29 年度）と比較して、今回調査は「住み続けたい」が 6.1 ポイント増加、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計が 2.5 ポイント増となったが、有意差があるとは言えなかった。



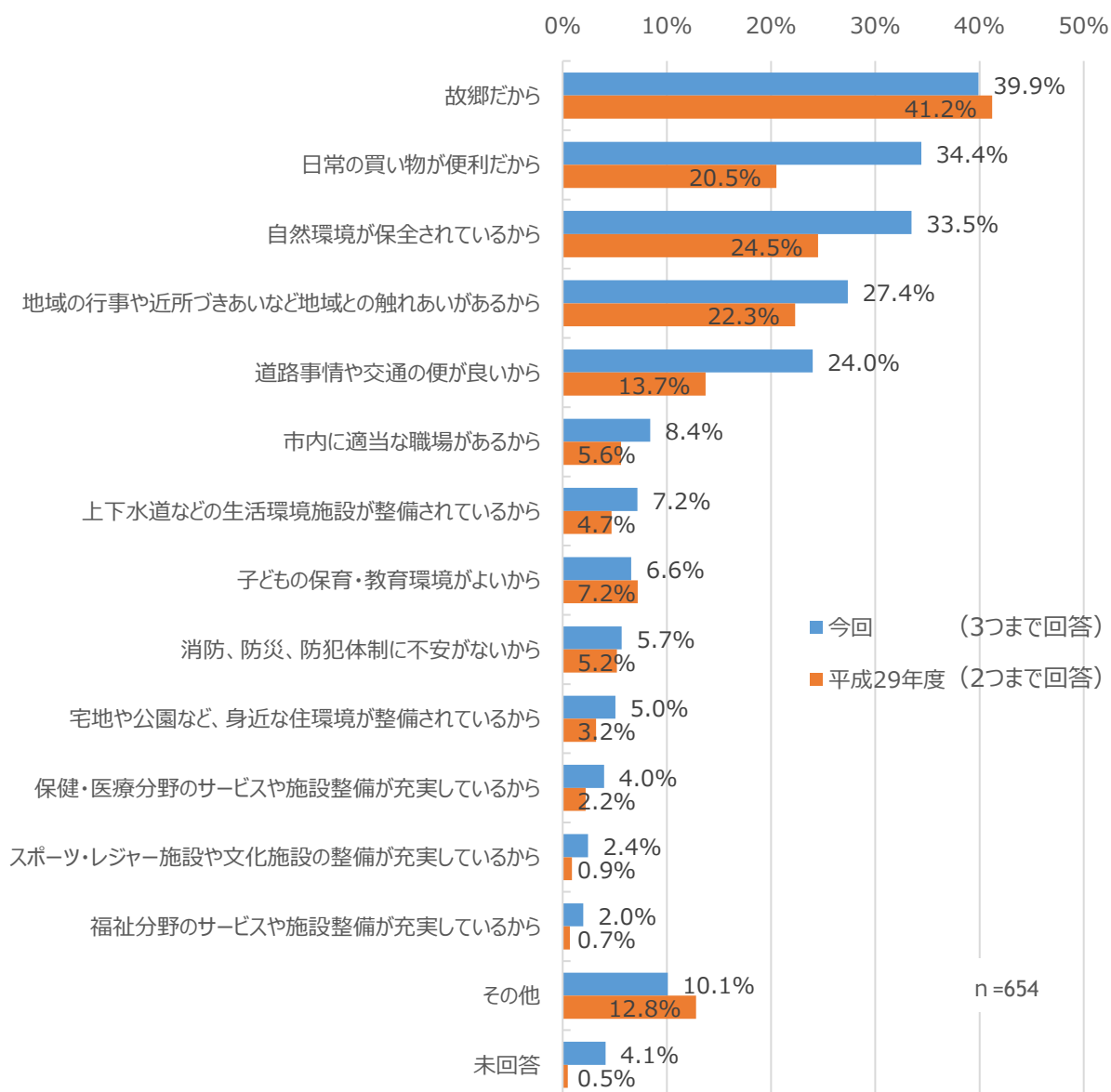
	N	今回	平成29年度
住み続けたい	389	49.4%	43.3%
どちらかといえば住み続けたい	265	33.6%	37.2%
どちらかといえば住み続けたくない	102	12.9%	15.9%
住み続けたくない	27	3.4%	2.7%
未回答	5	0.6%	0.9%
回答者数n	788	100.0%	100.0%

問5 住み続けたい理由について (MA)

問4で「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した理由を伺ったところ、「故郷だから」が39.9%、「日常の買い物が便利だから」が34.4%と高く、「自然環境が保全されているから」が33.5%と続いた。さらに、「地域の行事や近所づきあいなど地域との触れ合いがあるから」が27.4%、「道路事情や交通の便が良いから」が24.0%の順となった。

前回調査（平成29年度）と比較して、上位項目に変化はなかった。

（注：選択許可数と一部選択肢が前回と今回で異なる）



住み続けたい理由 (MA)

	N	今回	平成29年度
故郷だから	261	39.9%	41.2%
日常の買い物が便利だから	225	34.4%	20.5%
自然環境が保全されているから	219	33.5%	24.5% *
地域の行事や近所づきあいなど地域との触れあいがあるから	179	27.4%	22.3%
道路事情や交通の便が良いから	157	24.0%	13.7%
市内に適当な職場があるから	55	8.4%	5.6%
上下水道などの生活環境施設が整備されているから	47	7.2%	4.7%
子どもの保育・教育環境がよいから	43	6.6%	7.2%
消防、防災、防犯体制に不安がないから	37	5.7%	5.2%
宅地や公園など、身近な住環境が整備されているから	33	5.0%	3.2% *
保健・医療分野のサービスや施設整備が充実しているから	26	4.0%	2.2% *
スポーツ・レジャー施設や文化施設の整備が充実しているから	16	2.4%	0.9% *
福祉分野のサービスや施設整備が充実しているから	13	2.0%	0.7% *
その他	66	10.1%	12.8%
未回答	27	4.1%	0.5%
回答者数n	654		
回答数N	1,404		
N/n	2.15		

(*)前回 (平成29年度) 調査の選択肢と若干異なるが意味が同様と考えられる標本値

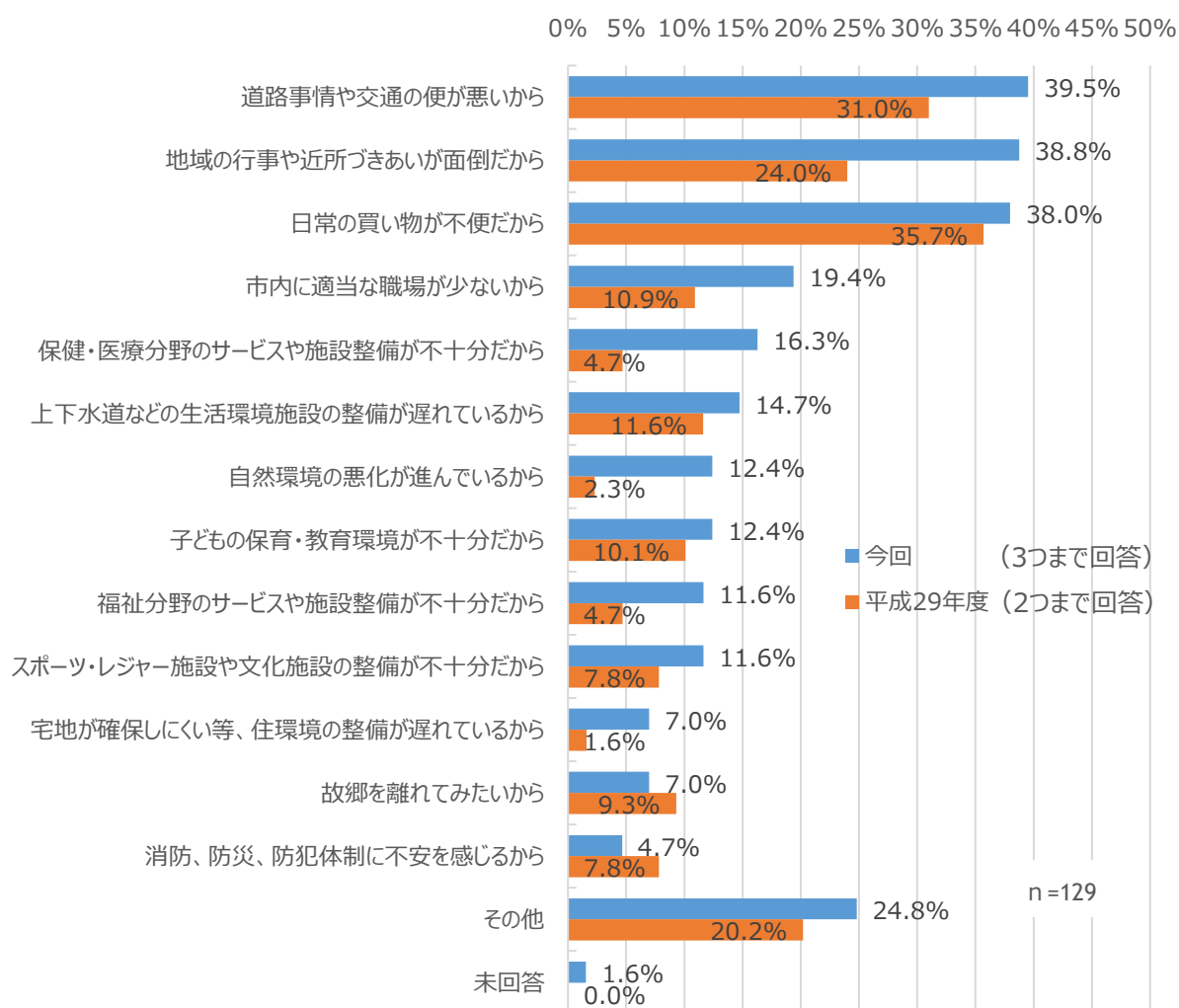
問 6 住み続けたくない理由について (MA)

問 4 で「どちらかといえば住み続けたくない」、「住み続けたくない」と回答した理由を伺ったところ、「道路事情や交通の便が悪いから」が 39.5%、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」が 38.8%、「日常の買い物に不便だから」が 38.0%と高かった。

問 5 で住み続けたい理由として比較的上位に挙げられた理由の反対理由が住み続けたくない理由の上位を占める結果となった。多数ではないものの、笛吹市居住に対する不満が一定層にあることがわかった。

上記の傾向は前回（平成 29 年度）調査と同じ傾向を示していた。

（注：選択許可数と一部選択肢が前回と今回とで異なる）



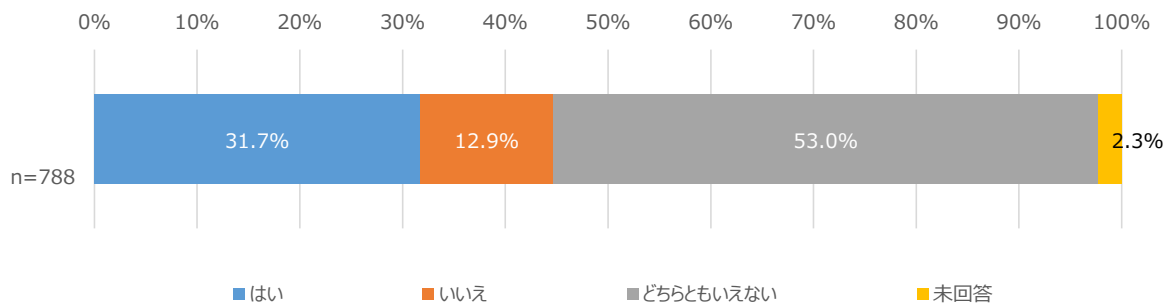
住み続けたくない理由（MA）

	N	今回	平成29年度
道路事情や交通の便が悪いから	51	39.5%	31.0%
地域の行事や近所づきあいが面倒だから	50	38.8%	24.0%
日常の買い物が不便だから	49	38.0%	35.7%
市内に適当な職場が少ないから	25	19.4%	10.9%
保健・医療分野のサービスや施設整備が不十分だから	21	16.3%	4.7%
上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから	19	14.7%	11.6%
自然環境の悪化が進んでいるから	16	12.4%	2.3%
子どもの保育・教育環境が不十分だから	16	12.4%	10.1%
福祉分野のサービスや施設整備が不十分だから	15	11.6%	4.7%
スポーツ・レジャー施設や文化施設の整備が不十分だから	15	11.6%	7.8%
宅地が確保しにくい等、住環境の整備が遅れているから	9	7.0%	1.6%
故郷を離れてみたいから	9	7.0%	9.3% *
消防、防災、防犯体制に不安を感じるから	6	4.7%	7.8%
その他	32	24.8%	20.2%
未回答	2	1.6%	0.0%
回答者数n	129		
回答数N	335		
N/n	2.60		

(*)前回（平成29年度）調査の選択肢と若干異なるが意味が同様と考えられる標本値

問 7 地域の助け合いの充実について (SA)

住んでいる地域では助け合いや支え合いが充実しているかを伺ったところ、「はい」が 31.7%となり、およそ 3 人に 1 人が地域での助け合いの充実を感じていた。一方で、「どちらともいえない」が 53.0%と最も多く、およそ 2 人に 1 人のぼった。

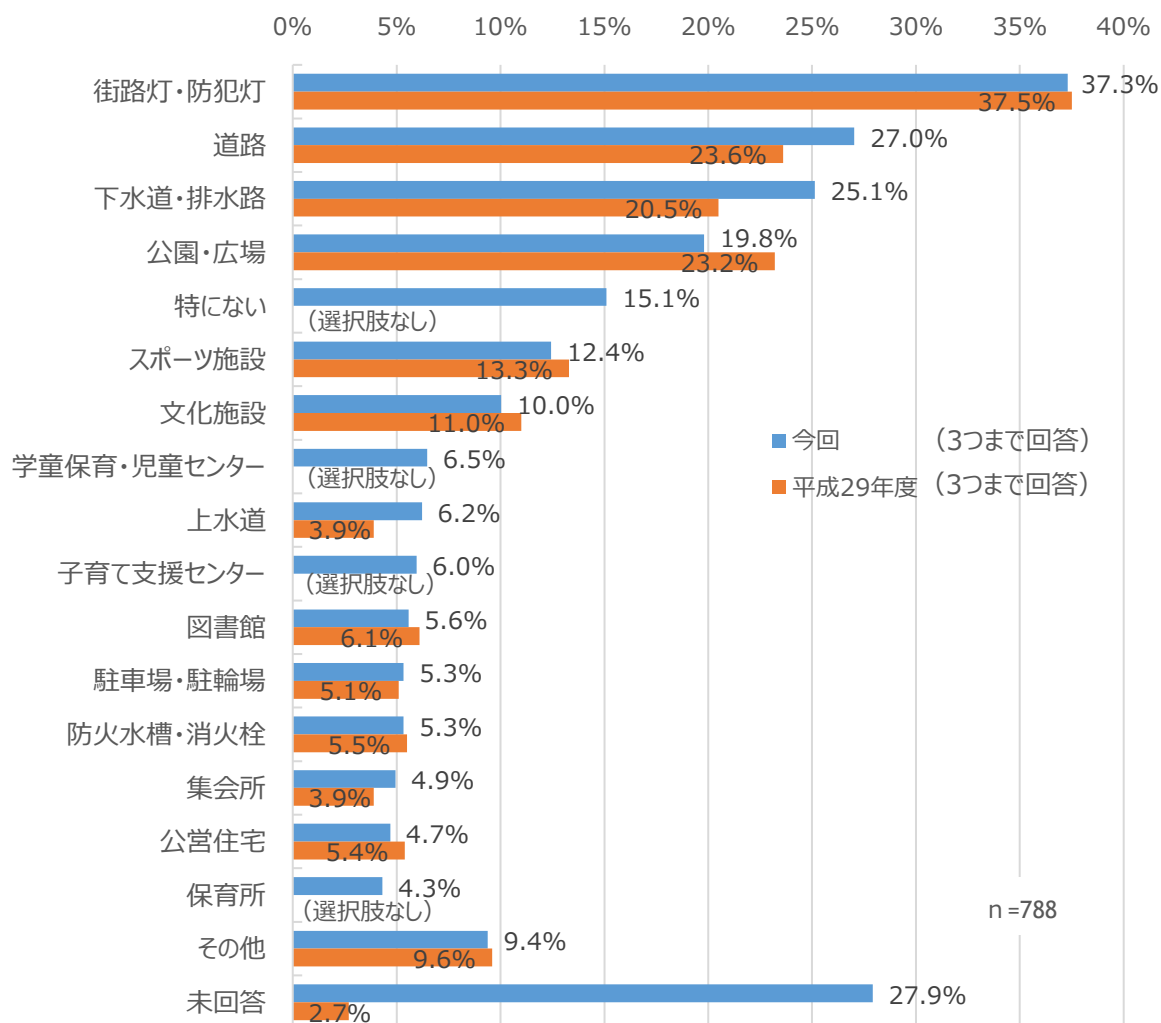


	N	%
はい	250	31.7%
いいえ	102	12.9%
どちらともいえない	418	53.0%
未回答	18	2.3%
回答者数n	788	100.0%

問 8 整備充実が必要な公共施設について (MA)

身近な住環境のなかで、どのような公共施設の整備充実が特に必要と考えるかを伺ったところ、「街路灯・防犯灯」が 37.3%と一番多く、次いで「道路」が 27.0%、「下水道・排水路」が 25.1%、「公園・広場」が 19.8%、「特にない」が 15.1%、「スポーツ施設」が 12.4%、「文化施設」が 10.0%となった。「特にない」を除いたこれらの項目は、前回調査（平成 29 年度）でも同様に上位項目となっていた。

(注：一部選択肢が前回と今回で異なる)



整備充実が必要な公共施設（MA）

	N	今回	平成29年度
街路灯・防犯灯	294	37.3%	37.5%
道路	213	27.0%	23.6%
下水道・排水路	198	25.1%	20.5%
公園・広場	156	19.8%	23.2%*
特になし	119	15.1%	選択肢なし
スポーツ施設	98	12.4%	13.3%
文化施設	79	10.0%	11.0%
学童保育・児童センター	51	6.5%	選択肢なし
上水道	49	6.2%	3.9%
子育て支援センター	47	6.0%	選択肢なし
図書館	44	5.6%	6.1%
駐車場・駐輪場	42	5.3%	5.1%
防火水槽・消火栓	42	5.3%	5.5%
集会所	39	4.9%	3.9%
公営住宅	37	4.7%	5.4%
保育所	34	4.3%	選択肢なし
その他	74	9.4%	9.6%
未回答	220	27.9%	2.7%
回答者数n	788		
回答数N	1,836		
N/n	2.33		

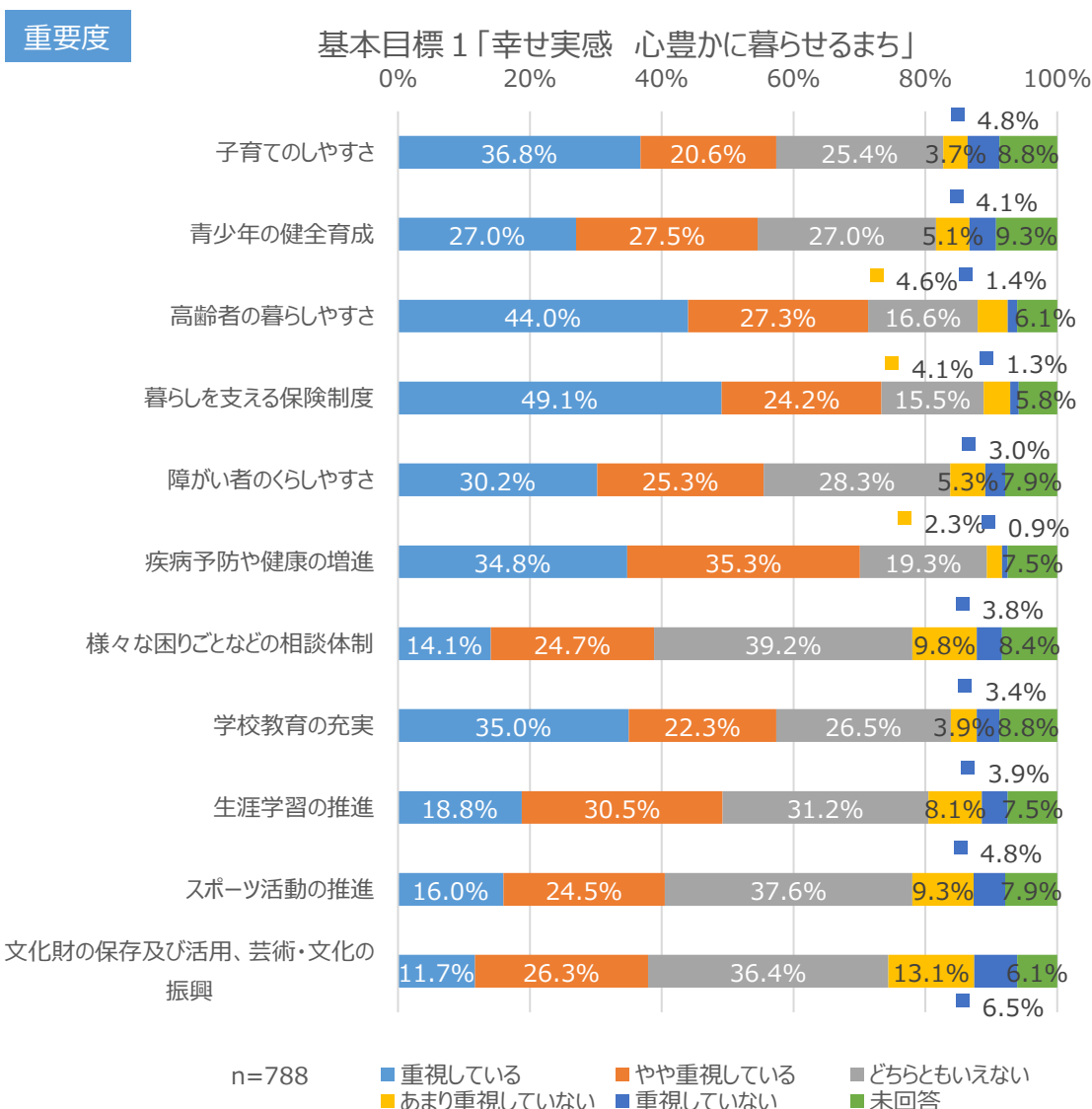
(*)前回（平成29年度）調査の選択肢「公園」と「広場」を合算した値

問 9-1 施策の重要度について (SA)

基本目標 1「幸せ実感 心豊かに暮らせるまち」

第二次笛吹市総合計画に示されている基本目標 1「幸せ実感 心豊かに暮らせるまち」についてどの程度重視しているかを伺ったところ、「重視している」と「やや重視している」を合わせたポイントは、「暮らしを支える保険制度」が 73.3%で最も高かった。次いで、「高齢者の暮らしやすさ」が 71.3%、「疾病予防や健康の増進」が 70.1%と続いた。

「あまり重視していない」と「重視していない」を合わせたポイントは、「文化財の保存及び活用、芸術・文化の振興」が 19.6%で高かった。次いで、「スポーツ活動の推進」が 14.1%、「様々な困りごとなどの相談体制」が 13.6%、「生涯学習の推進」が 12.0%と続いた。

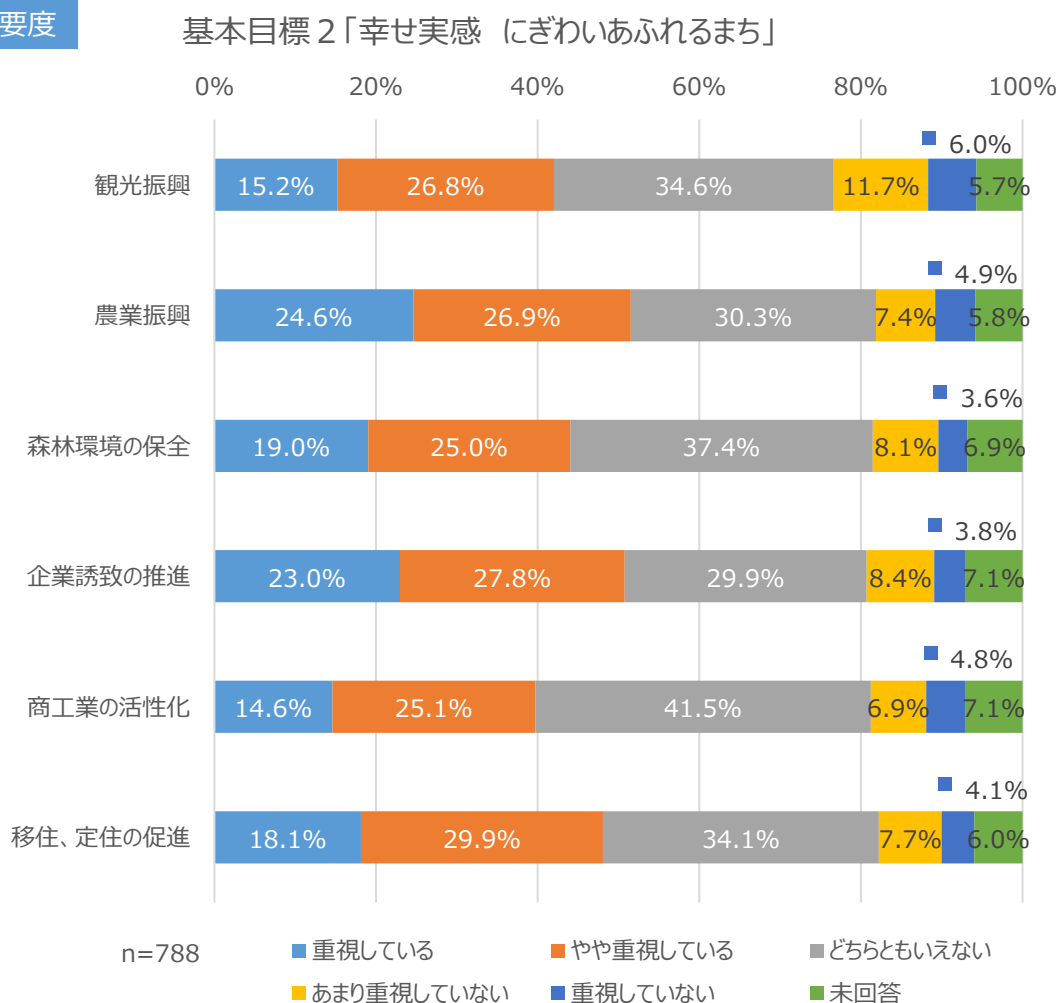


基本目標 2「幸せ実感 にぎわいあふれるまち」

第二次笛吹市総合計画に示されている基本目標 2「幸せ実感 にぎわいあふれるまち」についてどの程度重視しているかを伺ったところ、「重視している」と「やや重視している」を合わせたポイントは、「農業振興」が 51.5%で最も高かった。次いで、「企業誘致の推進」が 50.8%、「移住、定住の促進」が 48.0%と続いた。

「あまり重視していない」と「重視していない」を合わせたポイントは、「観光振興」が 17.7%で最も高かった。次いで、「農業振興」が 12.3%、「企業誘致の推進」が 12.2%、「移住、定住の促進」が 11.8%と続いた。

重要度



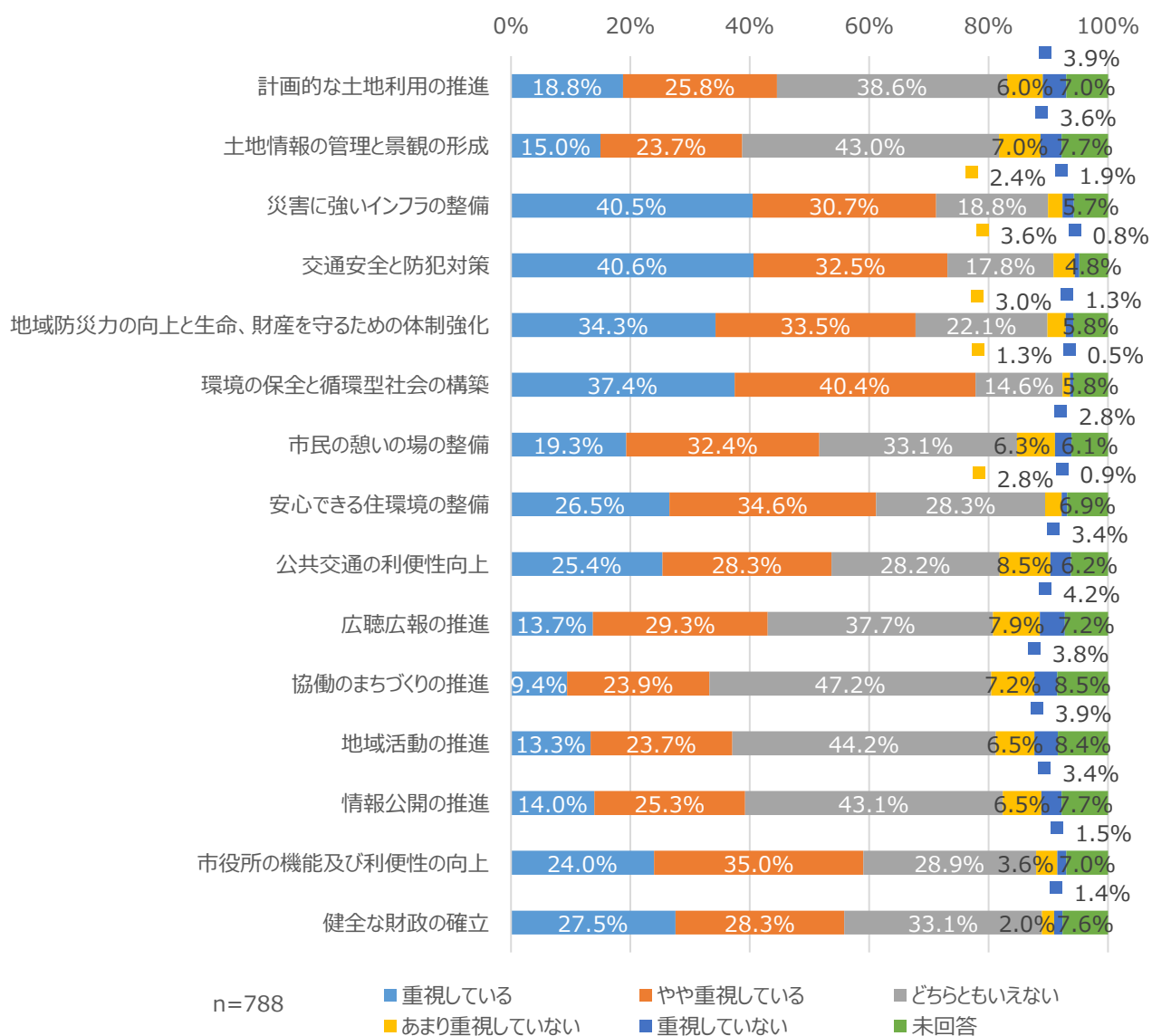
基本目標3「幸せ実感 100年続くまち」

第二次笛吹市総合計画に示されている基本目標3「幸せ実感 100年続くまち」についてどの程度重視しているかを伺ったところ、「重視している」と「やや重視している」を合わせたポイントは、「環境の保全と循環型社会の構築」が77.8%と最も高かった。次いで、「交通安全と防犯対策」が73.1%、「災害に強いインフラの整備」が71.2%、「地域防災力の向上と生命、財産を守るための体制強化」が67.8%と続いた。

「あまり重視していない」と「重視していない」を合わせたポイントは、「広聴広報の推進」が12.1%で最も高かった。次いで、「公共交通の利便性の向上」11.9%、「協働のまちづくりの推進」が11.0%、「土地情報の管理と景観の形成」が10.6%と続いた。

重要度

基本目標3「幸せ実感 100年続くまち」



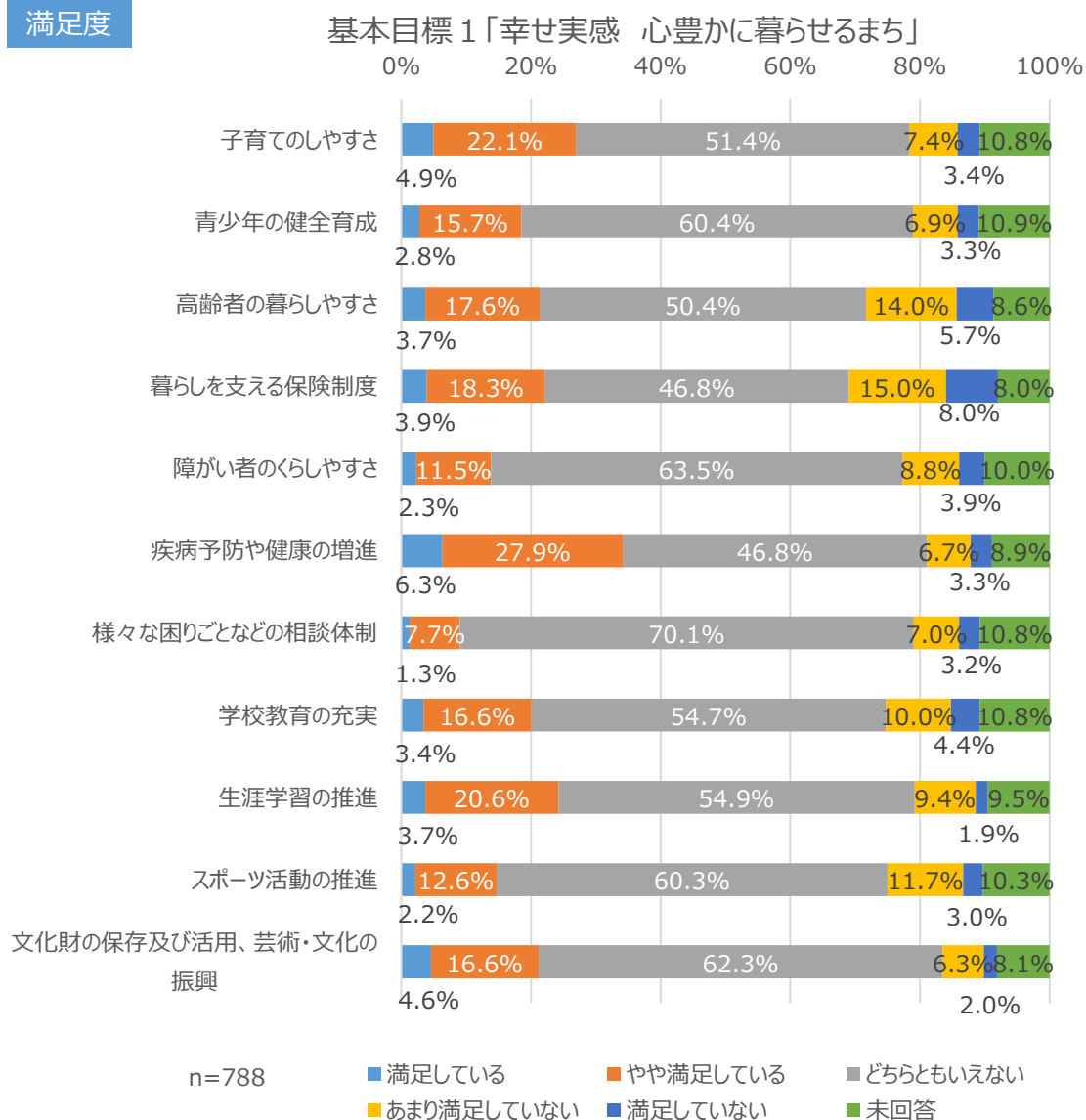
問 9-2 施策の満足度について (SA)

基本目標 1「幸せ実感 心豊かに暮らせるまち」

第二次笛吹市総合計画に示されている基本目標 1「幸せ実感 心豊かに暮らせるまち」について、どの程度満足しているかを伺ったところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせたポイントは、「疾病予防や健康の増進」が 34.2%で最も高かった。次いで、「子育てのしやすさ」27.0%、「生涯学習の推進」が 24.3%、「文化財の保存及び活用、芸術・文化の振興」が 21.2%と続いた。

「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせポイントは、「暮らしを支える保険制度」が 23.0%と最も高かった。次いで、「高齢者の暮らしやすさ」が 19.7%、「スポーツ活動の推進」が 14.7%、「学校教育の充実」が 14.4%と続いた。

満足度

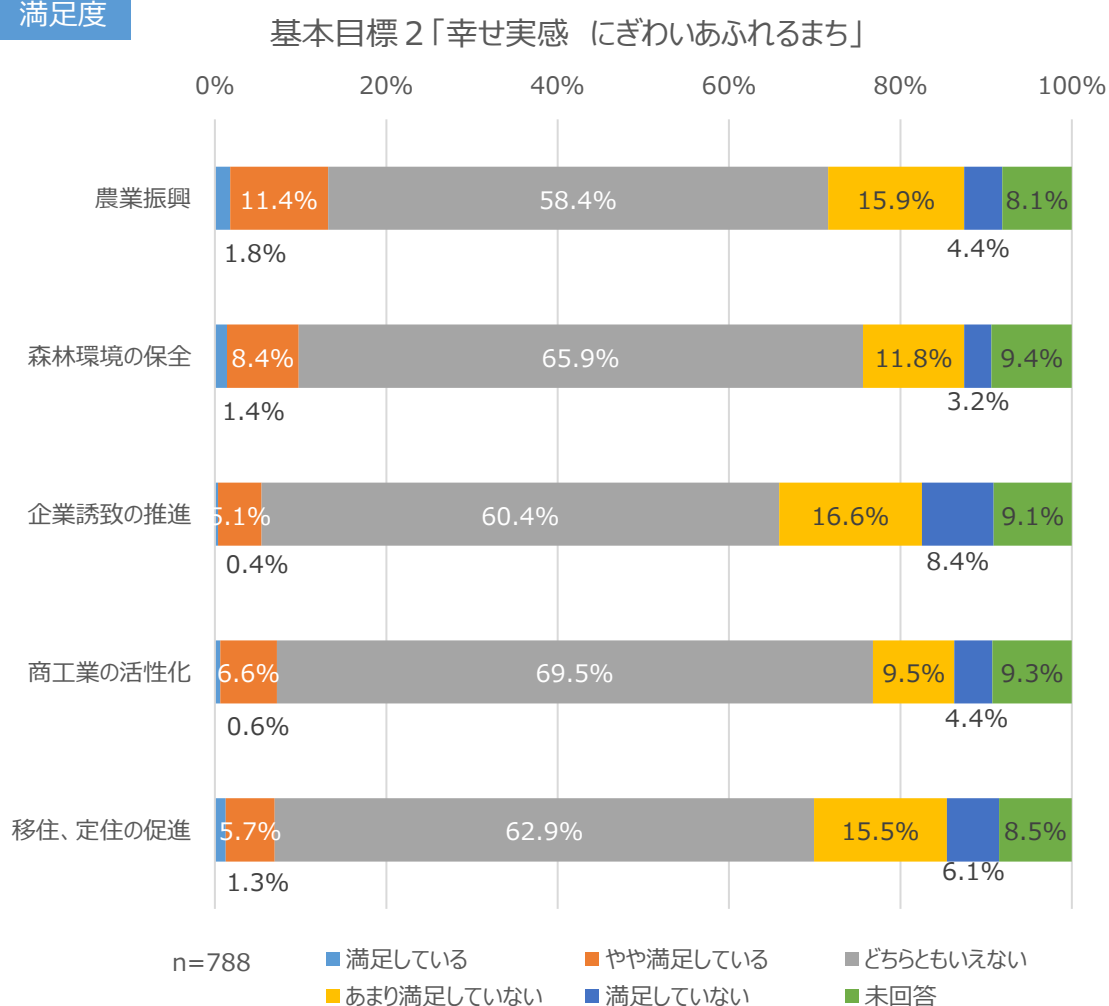


基本目標 2「幸せ実感 にぎわいあふれるまち」

第二次笛吹市総合計画に示されている基本目標 2「幸せ実感 にぎわいあふれるまち」について、どの程度満足しているかを伺ったところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせたポイントは、「農業振興」が 13.2%と最も高かった。次いで、「森林環境の保全」が9.8%、「商工業の活性化」が7.2%、「移住、定住の促進」が7.0%と続いた。

「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせたポイントは、「企業誘致の推進」が 25.0%と最も高かった。次いで、「移住、定住の促進」が 21.6%、「農業振興」が 20.3%、「森林環境の保全」が 15.0%と続いた。

満足度



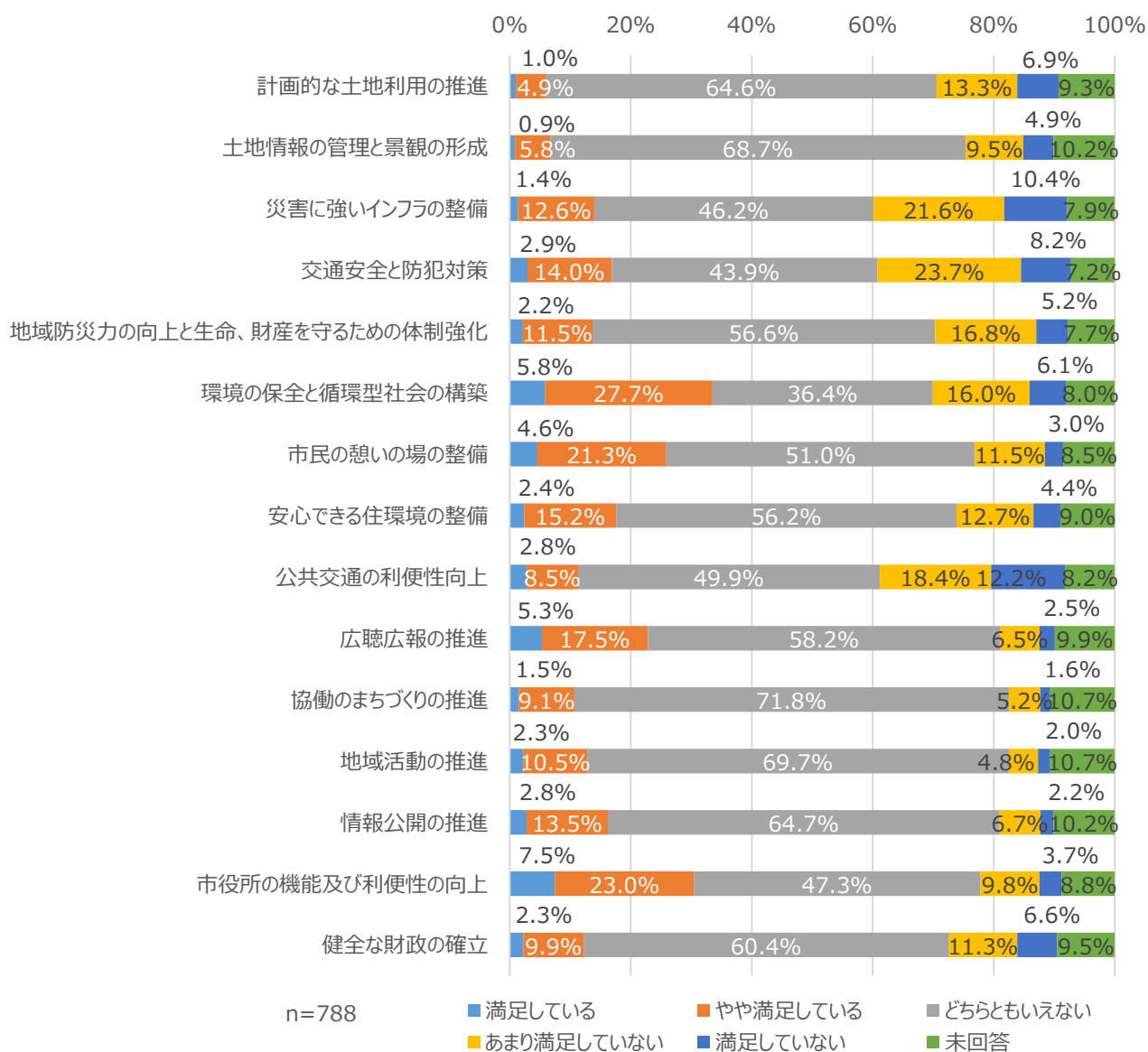
基本目標3「幸せ実感 100年続くまち」

第二次笛吹市総合計画に示されている基本目標3「幸せ実感 100年続くまち」について、どの程度満足しているかを伺ったところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせたポイントは、「環境の保全と循環型社会の構築」が33.5%と最も高かった。次いで、「市役所の機能及び利便性の向上」が30.5%、「市民の憩いの場の整備」が25.9%、「広聴広報の推進」が22.8%と続いた。

「あまり満足していない」と「満足している」を合わせたポイントは、「災害に強いインフラの整備」が32.0%と最も高かった。次いで、「交通安全と防犯対策」が31.9%、「公共交通の利便性向上」が30.6%、「環境の保全と循環型社会の構築」が22.1%と続いた。

満足度

基本目標3「幸せ実感 100年続くまち」



問 9-3 施策の重要度・満足度について (SA)

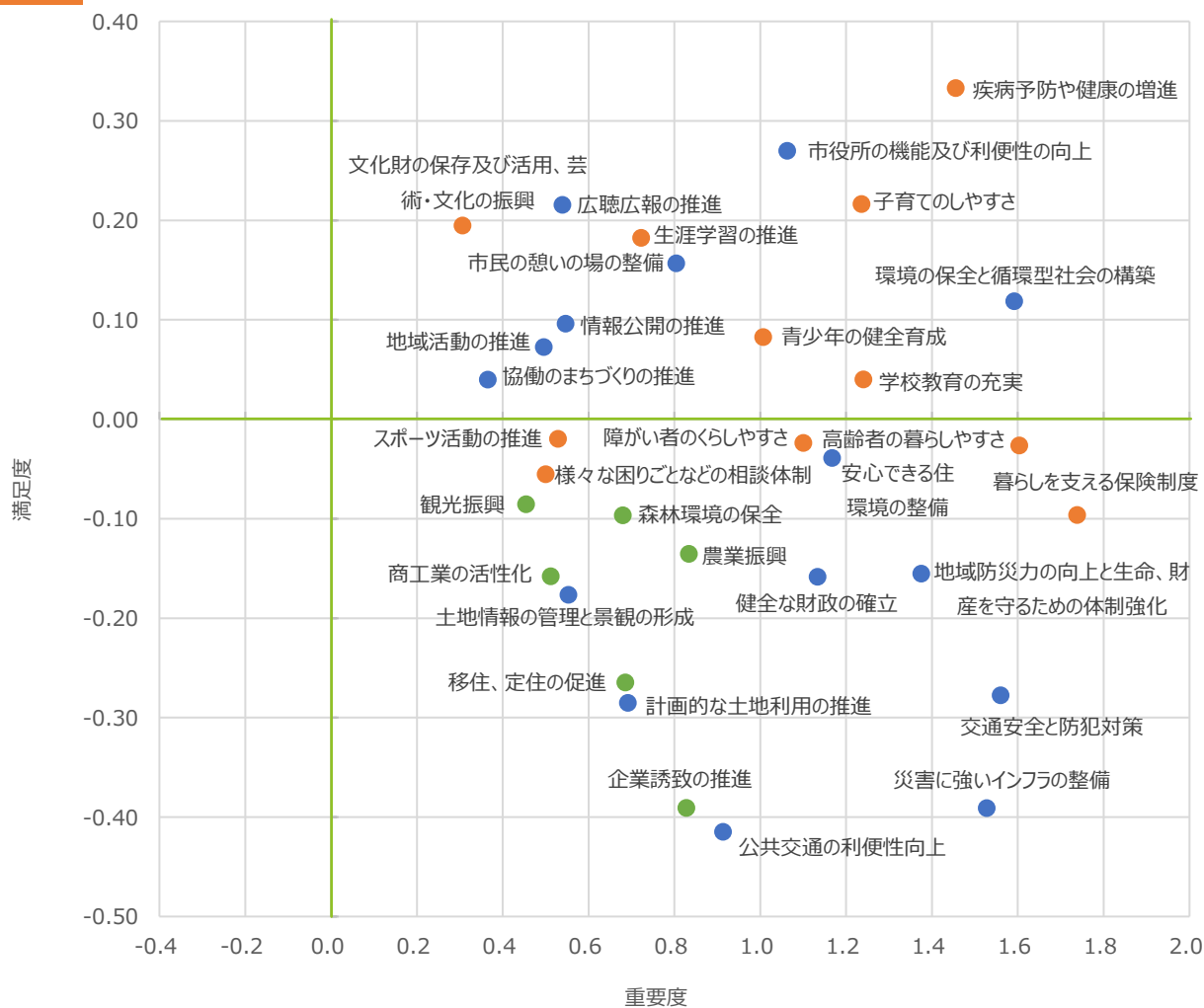
基本目標 1「幸せ実感 心豊かに暮らせるまち」

第二次笛吹市総合計画に示されている基本目標 1「幸せ実感 心豊かに暮らせるまち」について、「疾病予防や健康の推進」、「子育てのしやすさ」が重要度、満足度ともに高くなっている。一方で、「暮らしを支える保険制度」、「高齢者の暮らしやすさ」は、重要度は高いものの満足度が低い結果となっている。

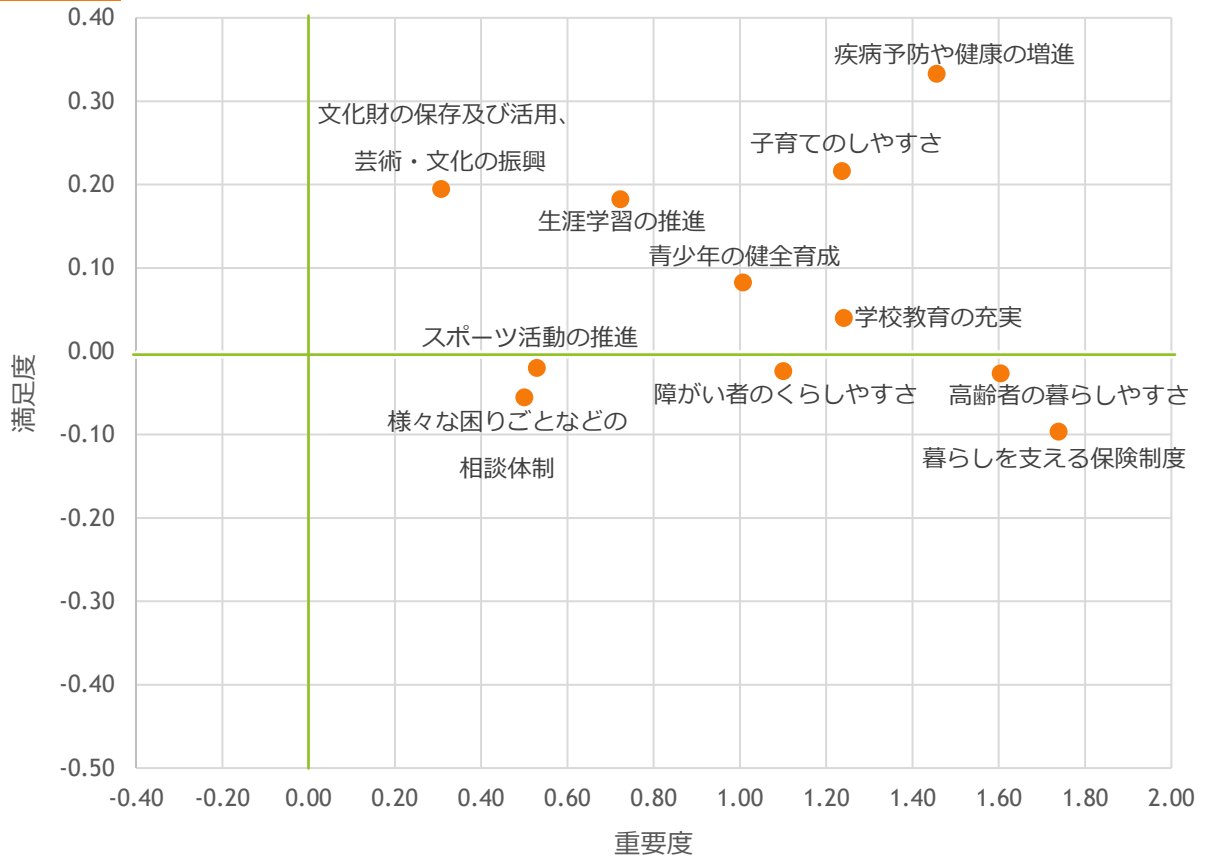
基本目標 2「幸せ実感 にぎわいあふれるまち」について、全体的に重要度、満足度ともに低い結果となっている。

基本目標 3「幸せ実感 100 年続くまち」について、「市役所の機能及び利便性の向上」、「環境の保全と循環型社会の構築」が重要度、満足度ともに高くなっている。一方で、「交通安全と防犯対策」、「災害に強いインフラの整備」、「地域防災力の向上と生命、財産を守るための体制強化」は、重要度は高いものの満足度が低い結果となっている。

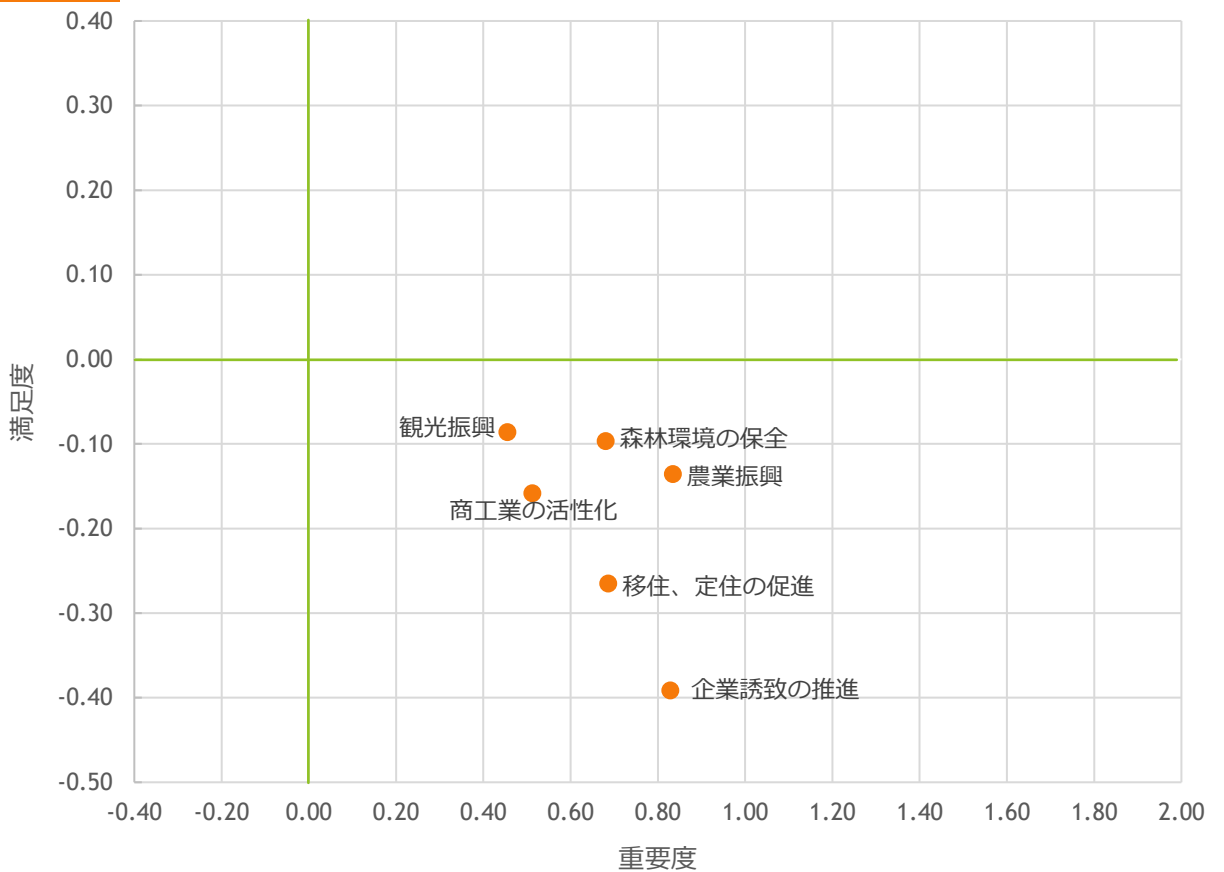
全施策



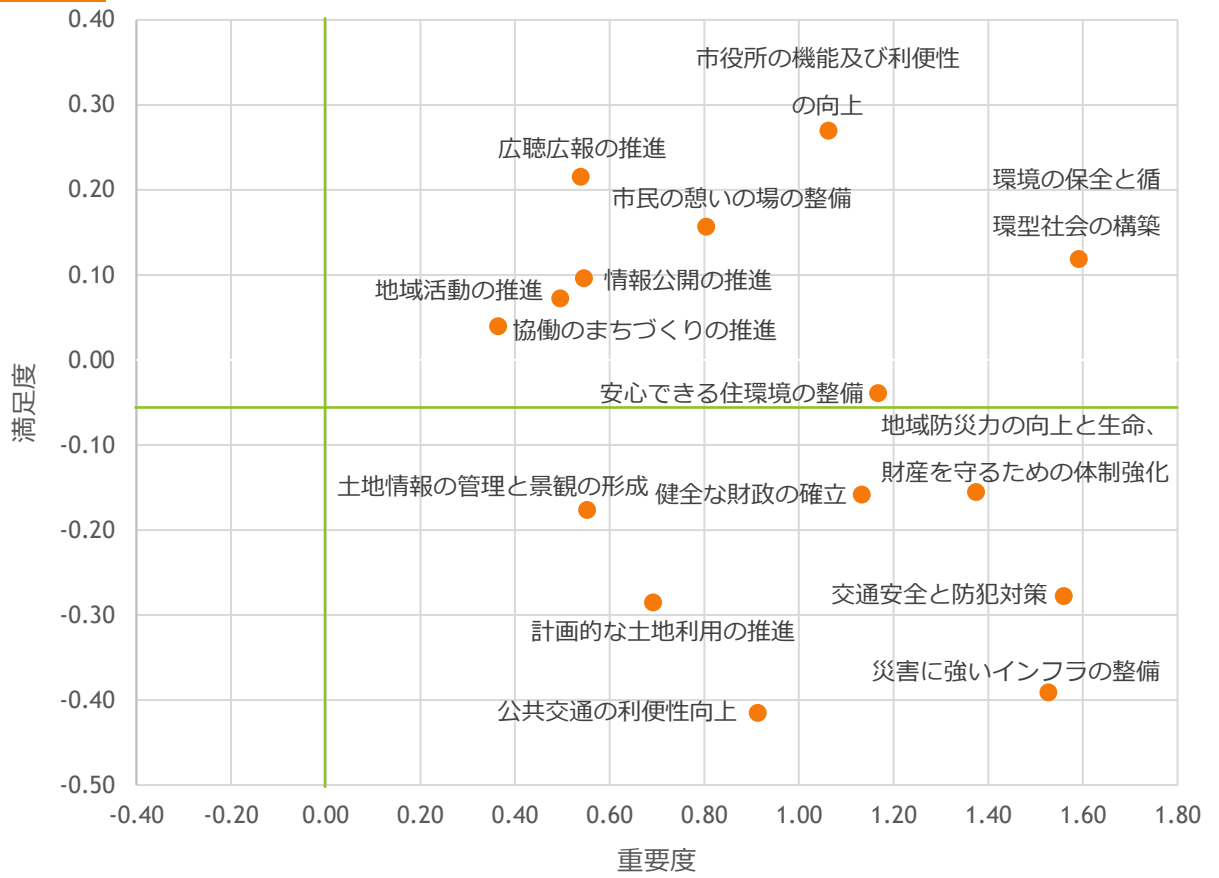
基本目標1



基本目標2



基本目標3



施策No.	カテゴリ	重要度	満足度
1	子育てのしやすさ	1.24	0.22
2	青少年の健全育成	1.01	0.08
3	高齢者の暮らしやすさ	1.60	-0.03
4	暮らしを支える保険制度	1.74	-0.10
5	障がい者の暮らしやすさ	1.10	-0.02
6	疾病予防や健康の増進	1.46	0.33
7	様々な困りごとなどの相談体制	0.50	-0.06
8	学校教育の充実	1.24	0.04
9	生涯学習の推進	0.72	0.18
10	スポーツ活動の推進	0.53	-0.02
11	文化財の保存及び活用、芸術・文化の振興	0.31	0.19
12	観光振興	0.45	-0.09
13	農業振興	0.83	-0.14
14	森林環境の保全	0.68	-0.10
15	企業誘致の推進	0.83	-0.39
16	商工業の活性化	0.51	-0.16
17	移住、定住の促進	0.69	-0.26
18	計画的な土地利用の推進	0.69	-0.29
19	土地情報の管理と景観の形成	0.55	-0.18
20	災害に強いインフラの整備	1.53	-0.39
21	交通安全と防犯対策	1.56	-0.28
22	地域防災力の向上と生命、財産を守るための体制強化	1.37	-0.16
23	環境の保全と循環型社会の構築	1.59	0.12
24	市民の憩いの場の整備	0.80	0.16
25	安心できる住環境の整備	1.17	-0.04
26	公共交通の利便性向上	0.91	-0.41
27	広聴広報の推進	0.54	0.22
28	協働のまちづくりの推進	0.36	0.04
29	地域活動の推進	0.50	0.07
30	情報公開の推進	0.55	0.10
31	市役所の機能及び利便性の向上	1.06	0.27
32	健全な財政の確立	1.13	-0.16
	max	1.74	0.33
	min	0.31	-0.41
	average	0.93	-0.04